

# 第3回フィールド科学系部門専門分野別技術研修

フィールド科学系部門長

窪田 浩和

## 1. 目的

フィールド科学系部門スタッフとの親睦及び新しい技術、専門知識を広げ、それぞれの仕事内容を理解し、今後の業務向上を図る。

## 2. 参加日時及び場所

2012年12月6日(木) 11:00~16:00 大学院理学研究科 附属宮島自然植物実験所

## 3. 参加者

(講師：内田慎治技術員，向井誠二契約技術職員)

勇木義則技術統括，塩路恒生，山口信雄，川北龍司，青山幹男，山城英和，東脇隆文，岩崎貞治，脇良平，北村亜紀，窪田浩和

## 4. 研修内容

### (1) 標本作成，管理保存について

内田技術員から標本作成技術，保存の説明を受けた。宮島には各地から標本作成，保存の依頼が有り，種類の判定や整理に苦勞されている。講義終了後，標本保管場所の見学を行った。昔からの資料が沢山有り整理されていたが，まだまだ整理されていない部分が多く見られ今後の課題である。



## (2) 宮島実験所概要, 宮島の植物について

向井契約技術職員から宮島の概要説明を受けた。続いて宮島の希少植物についてスライドを見ながら解説を行った。中には絶滅した植物もあり、保護するのは難しい事を改めて認識した。



## (3) 宮島標本のデータベース化

向井契約技術職員から宮島の植物, 持ち込み植物のデータベース化について説明を受けた。現在, 2 万件位のデータベース化を行っているが, 目標 10 万件位だそうです。これが完成すれば, 検索するだけで瞬時にデータが引き出されて標本の場所が分かるようになる。

## (4) 見学

講義終了後, 内田技術員の案内で砲台跡地や宮島の植物を見学して回った。

## 5. まとめ

宮島自然植物実験所では, 宮島の自然, 植生など学んだ。特に標本作成や管理にかなりの時間が必要であることが分かり, 実験所の業務について改めて理解を深めた。また, 各職場の意見交換を行い, 職場での状況報告や当面の問題などについて話し合った。これらの情報をフィールド科学系部門の今後の業務遂行に役立てたい。